九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[136]九州大学大型計算機センターニュース : No.136

https://doi.org/10.15017/1485092

出版情報：九州大学大型計算機センターニュース. 136, pp.1-8, 1977-03-10. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

KYUSHU UNIVERSITY

1977.3.10

九州大学
大型計算機センターニュース

No. 136

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL092—641—1101)
内線 2256

目　　次

◇ 年度末の業務スケジュールについて …… 1
◇ 昭和51年度分負担金のキャンセルについて …… 2
◇ 専用ファイルの期限延長手続きについて …… 2
◇ カード保管棚の整理について …… 2
◇ ¥SORTマクロの新設について …… 2
◇ アプリケーション・プログラムTIMSについて …… 4
◇ アプリケーション・プログラムMALVA／Xの
使用方法の変更について …… 6
◇ 利用の手引　ライブラリ編(第一部)の訂正 …… 8

◇ 年度末の業務スケジュールについて

年度末の業務整理のため，下記のように計算サービスを停止いたします．

記

月／日	3月 28(月)	29(火)　30(水)　31(木)	4月 1(金)　2(土)
内容	通常業務	サービス停止 ←→ 受付，ジョブ受付 穿孔受付 オープンカードリーダ プログラム相談	通常業務

注1. CRBOジョブで3月28日午後5時までに出力できなかったジョブは，センター内ラインプリンターに強制出力させますのでご了承ください．

注２　連絡所から計算依頼される場合には，３月２８日までに必ず到着するようにしてください．

（業務掛　電（内）２２４４）

◇　昭和５１年度分負担金のキャンセルについて

昭和５１年度分の負担金キャンセルは，下記期日までに出力リストとカードを添えてプログラム相談室または業務掛へお申し出ください．遠隔地，その他の理由で期日までに間に合わない場合は，あらかじめ業務掛まで電話で連絡してください．なお，４月７日を過ぎて申し出があっても，キャンセルの取扱いをしませんのでご了承ください．

記

締切期日　　昭和５２年４月７日（木）

（業務掛　電（内）２２４４）

◇　専用ファイルの期限延長手続きについて

専用ファイルを４月以降も継続して利用される場合は，３月２８日までに有効期限の延長手続きを行ってください．この延長手続きをしていないファイルは，４月１日以後使用できませんのでご注意ください．

（業務掛　電（内）２２４４）

◇　カード保管棚の整理について

オープンパンチ室及び返却箱横のカード保管棚の整理を３月末に実施します．カード保管棚利用の有効期限は受付日より３カ月ですが，期限切れのまま利用されている場合は早目に継続の申込みを行ってください．期限切れにより整理したカード等は，仕分室内に２カ月間保管した後，廃棄処分します．

（業務掛　電（内）２２４４）

◇　¥SORTマクロの新設について

３月７日（月）より¥SORTマクロが新たに使用できるようになりましたのでお知らせします．

今までファイル上のデータを分類するサービス・プログラムSORTを利用するジョブは，要審査ジョブとして取扱っていましたが，B，C，Dジョブでも使えるようになりました．

なお，使用方法は次のとおりです．

	マクロ名	パラメータ
¥	SORT	〔 STEP ＝ m 〕

機能： 入力ファイルのデータを分類（指定された順序に並べる）して出力ファイルに書き出す.

パラメータの説明

パラメータ	記入したとき	省略したとき
STEP=m	1ジョブ中，¥SORT マクロを複数個使用する時，異なった番号（3桁以内）を指定する.	1ジョブ中，このマクロは1個しか使用できない.

利用方法

¥SORT マクロを利用して分類する場合は，このジョブ制御マクロの他に，必ず入出力ファイルを定義するジョブ制御マクロと分類方法を指定する SORT 制御文[注1)]が必要です.

入出力ファイルとして専用ファイル，磁気テープファイル[注2)]を使用することができます. ファイル編成は順編成でなければなりません. 入出力ファイルの指定は，専用ファイルの場合には¥PSFILE マクロ，磁気テープファイルの場合には¥SLFILE マクロを使用します.

入出力ファイルのファイル定義名は以下のとおりです.

入力ファイルのファイル定義名……SORTIN

出力ファイルのファイル定義名……SORTOUT

注1) SORT 制御文は FACOM 230 M－Ⅵ／Ⅶ SORT／MERGE 使用手引書を参照ください.

注2) 磁気テープファイルの場合は，原則として単ファイル・単ボリュームか多ファイル・単ボリュームのうち任意の一個のファイルとしますが，単ファイル・多ボリュームのときはセンターのプログラム相談員へ連絡ください.

（研究開発部 電（内）2261）

使 用 例

入力ファイル，出力ファイルとも磁気テープファイルを利用する場合

```
¥NO
¥USER
¥QJOB
¥SORT
```

SORT制御文

```
¥SLFILE   SORTIN,MTIN,Q00000,FCBPRM=YES,TMOD=9,    /
          RCDSIZE=80,BLKSIZE=1200
¥SLFILF   SORTOUT,MTONT,Q00001,FCBPRM=YES,TMOD=9,  /
          RCDSIZE=80,BLKSIZE=1200
¥JEND
```

◇ アプリケーション・プログラム TIMS について

3月7日(月)より TIMS が使用できるようになりましたのでお知らせします. TIMS (Time series Information Management System) は, 時系列分析を中心とした総合予測システムであり, もう1つの時系列予測システム GPFS (General Purpose Forecasting System — 当センターでは使用できない) に対して予測手法の強化やデータファイルの取扱いなどの機能をもたせて時系列分析による予測システムとして集大成されています.

TIMS は13個の独立した実行形成プログラムから構成され, そのプログラム名は表2のとおりです.

表 2

手法名	プログラム名	手法名	プログラム名
移動平均法	MOVE	メインテナンス	MAINT
指数平滑法	EPFS	ユーティリティー1	UTY1
指数・成長曲線	LINE	ユーティリティー2	UTY2
E・P・A法	EPA	ユーティリティー3	UTY3
センサス局法	CENSUS	ユーティリティー5	UTY5
回帰分析	OLS	ユーティリティー6	UTY6
データ加工	DGN		

・マクロの説明

	マクロ名	パラメータ
¥	TIMS	プログラム名 [,STEP=m] [,OUTPUT=REMOTE]

パラメータの説明

パラメータ	記入したとき	省略したとき
プログラム名	下記のうち，いずれかを記入する． MOVE，EPFS，LINE，EPA，CENSUS， OLS，DGN，MAINT，UTY1，UTY2， UTY3，UTY5，UTY6	省略できない
STEP＝m	1ジョブ中，¥TIMSマクロを複数個使用する時，異った番号（3桁以内）を指定する．	1ジョブ中，このマクロは1個しか使用できない．
OUTPUT＝ REMOTE	リストの出力先を端末とする．	センターのラインプリンタとなる．
	ただし，¥QJOBでJOBOUT＝CORRの場合はこの指定の有無にかかわらず，端末から入力されたものは端末へ，センターで入力されたものはセンターのラインプリンタへ出力される．	

・使用方法

TIMSはいくつかの作業用のファイルを使用していますが，プログラムによって必要とするファイルの種類や個数が異っていますので，マクロの中では定義していません．従って，利用者が必要に応じてその都度割り当てなければなりません．

ファイルの割り当ては，作業用ファイルの場合には¥WKFILEマクロ，専用ファイルの場合には¥PSFILEマクロを使用します．各プログラムで必要とするファイルのファイル定義名は表3のとおりです．

なお，使用するファイルの容量と使用方法については，プログラム相談室に備えているアプリケーション関係の資料を参照ください．

表　3

プログラム名	使用するファイルのファイル定義名
MOVE	F01，F02，F03，F04，F08，F13，F14
EPFS	F01，F02，F03，F04，F08，F13，F14
LINE	F01，F03，F04，F09，F10，F13，F14
EPA	F01，F02，F03，F04，F08，F09，F10，F13，F14

CENSUS	F01,F02,F03,F04,F08,F09,F10,F13,F14
OLS	F01,F02,F03,F04,F08,F09,F13
DGN	F01,F02,F03,F04,F08,F09,F10,F11,F12,F13
MAINT	F01,F02,F13
UTY1	F01,F02
UTY2	F01,F02
UTY3	F01
UTY5	F01,F13
UTY6	F01

例 MOVE を実行する場合

```
¥NO
¥USER
¥QJOB
¥TIMS      MOVE
```

TIMS 制御文

```
¥WKFILE    F01
¥WKFILE    F02
¥WKFILE    F03
¥WKFILE    F04
¥WKFILE    F08
¥WKFILE    F13
¥WKFILE    F14
¥JEND
```

◇ アプリケーションプログラムMALVA／Xの使用方法の変更について

3月7日（月）より¥MULVAX マクロの使用方法を変更いたしましたのでお知らせします.

従来，MULVA／Xの中で使用する作業用ファイルは¥MULVAX マクロの中で定義していましたが，プログラムごとに使用するファイルの種類や個数が異っていますので，利用者が必要に応じてその都度割り当てるように変更いたします.

ファイルの割り当ては，作業用ファイルの場合には¥WKFILE マクロ，専用ファイルの場合

には¥PSFILE マクロを使用します．各プログラムで必要とするファイルのファイル定義名は，表1のとおりです．

なお，使用するファイルの容量と使用方法については，プログラム相談室に備えているアプリケーション関係の資料を参照ください．

表　1

プログラム名	使用するファイルのファイル定義名
FACTOR	F01, F02, F03, F04, F08
ROTATE1	F01, F02, F03, F08
ROTATE2	F01, F02, F03, F08
SCORE	F01, F02, F03, F04, F08, F09
CANO	F01, F02, F08
DISC	F01, F02, F08
TEST	F01, F02, F08

例　FACTOR を実行する場合

```
¥NO
¥USER
¥QJOB
¥MULVAX     FACTOR
```

MULVA／X 制御文

```
¥WKFILE     F01
¥WKFILE     F02
¥WKFILE     F03
¥WKFILE     F04
¥WKFILE     F08
¥JEND
```

◇ 利用の手引　ライブラリ編（第一部）の訂正

上記のアプリケーション・プログラムの変更に伴って，次のように訂正します．

<table>
<tr><th>頁　　行</th><th>訂　　正　　後</th><th>訂正前</th></tr>
<tr><td>2－12　13の次に追加</td><td>統計・予測 | TIMS</td><td>空</td></tr>
<tr><td>2－26　F1に追加</td><td>ヨ) TIMS
¥TIMS プログラム名〔, STEP〕〔, OUTPUT=REMOTE〕*
パラメータの説明
<table><tr><th>パラメータ</th><th>記 入 し た と き</th><th>省略したとき</th></tr><tr><td>プログラム名</td><td>下記のうち，いずれかを記入する．
MOVE, EPFS, LINE,
EPA, CENSUS, OLS,
DGN, MAINT, UTY1,
UTY2, UTY3, UTY5,
UTY6</td><td>省略できない</td></tr></table></td><td>空</td></tr>
<tr><td>2－27　表4中15～16</td><td>| …… | …… | なし |</td><td>| …… | …… | F01, F02, F03, F04
F05, F06, F07, F08 |</td></tr>
<tr><td>2－27　表4中下1に追加</td><td>| TIMS | ¥TIMS | なし |</td><td>空</td></tr>
</table>